

患者さん、患者さんご家族その他関係者の皆様へ

愛知医科大学医学部  
造血細胞移植振興寄付講座  
教授 小寺良尚

## 造血細胞（骨髄、末梢血、臍帯血、造血幹細胞ドナーリンパ球）移植に関する セカンドオピニオン外来を開始しました

2009年6月より愛知医科大学病院では各専門科におきまして、セカンドオピニオン外来を開始しておりますが、本講座といたしましても、血液内科、輸血部と協力して、特に本講座と関わりの深い造血細胞（骨髄、末梢血、臍帯血、造血幹細胞ドナーリンパ球）移植に関するご相談を、9月からお受けすることになりました。造血細胞移植は血液難病等において、原病の治癒と良好な社会復帰を望みうる治療法として世界的に普及の一途をたどっておりますが、殊に同種造血幹細胞移植ではHLA（ヒト白血球型抗原）が一致するドナーさんを必要とすることや、移植前後には無菌室へ入院の上、強力な化学・放射線療法や免疫抑制療法を受けなければならないこと等から、色々お悩み、お迷いの患者さん、患者さんご家族、ドナー候補者の方も多いかと思います。本講座では、講座の目的である造血細胞移植振興のため、この領域における国内のみならず世界の最新情報を集積しているとともに、担当者は造血細胞移植の臨床経験が豊富でありますので、受診者の個々のご事情に応じたご助言ができると考えております。どうぞお気軽にご利用ください。

受診方法：愛知医科大学病院のホームページを開き、がんセカンドオピニオン外来をクリックしていただきますと受信方法が記載してあります。対象疾患一覧の中の、血液（造血器）腫瘍で、輸血部（造血幹細胞移植）が、本講座担当分です。

担当者：小寺良尚（造血細胞移植振興寄付講座教授、日本造血細胞移植学会理事長、日本血液学会指導医）

セカンドオピニオン外来日：原則、毎週 月、火、木、金の午前10～12時、午後1～3時  
あらかじめ予約をお取り下さい。

その他：その他の条件は、愛知医科大学病院セカンドオピニオン外来に記載の通りです。